

会議記録

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会議名	令和2年度高松市健康づくり推進懇談会
開催日時	令和2年11月26日(木) 14時～15時
開催場所	高松市保健センター 5階 研修室
議題	(1) 令和2年度「高松市健康都市推進ビジョン」の進捗状況について 新型コロナウイルス感染症発生に伴う事業への影響について (2) 令和2年度高松市健康づくり推進懇談会 事前アンケート内容と回答 (3) その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	虫本会長・穴吹委員・林委員・森委員・三野委員・生嶋委員・喜田委員・西川委員・葛西委員・直瀧委員・大西委員・塚委員・平尾委員・岡田委員・松岡委員 (欠席委員3名)
傍聴者	1人(定員5人)
担当課及び連絡先	保健医療政策課 839-3805

会議の経過及び結果

次のとおり、会議を開催しました。

- 1 会長選出
- 2 会長挨拶
- 3 議題の協議

議題(1)について

令和2年度「高松市健康都市推進ビジョン」の進捗状況について
新型コロナウイルス感染症発生に伴う事業への影響について

議題(2)について

令和2年度高松市健康づくり推進懇談会 事前アンケート内容と回答

(資料3-1「高松市健康都市推進ビジョン」に基づく13分野の取組状況について)

委員

資料1の栄養・食生活・食育ポスターの写真が掲載されているが、ポスターの内容が小さくて分かりにくく、健康づくり推進課にお願いして、会場に、該当のポスターを大きく貼ってもらった。8月31日(野菜の日)に合わせてスーパーに掲示しているということだが、野菜には

季節があるので、できれば春・夏・秋・冬編のようなものを作っていただき、年中啓発していけたら良いと思う。

また、「健康づくり協力店」は飲食店だけでなく、スーパーマーケットも含まれることが分かった。最近コンビニを利用する若い世代も増えているので、そちらにも啓発できるようなポスターを作っていただきたい。

健康づくり推進課長

スーパーマーケットとの季節ごとの協力について、今後協議を進めたい。コンビニの中にも、既に「健康づくり協力店」に加入していただいているところもあるので、今後も普及を目指したい。

委員

例えば、地域のスーパーの中には県下全域にある店舗もある。県の栄養士会の会員の中で、「この取組を県下全域に広げてもらえるとうれしい」という意見もあり、県と連携した形で進められたらなお良いと思う。

委員

循環器疾患・糖尿病に関しての質問に対し、資料3を読んでよく分かった。

地域包括支援センター長

④⑤「フレイル予防」に関して、本日お手元に配布している「生活習慣病とフレイル予防で健康長寿」というチラシの1ページ目に、予防と改善のポイントとして、「身体を動かす」「食事」「お口の健康」「充実した生活」という4つの記載がある。地域包括支援センターとしては、介護予防教室でこの内容のPRを行うとともに、長寿福祉課が実施している「居場所事業」の連携事業として、居場所に通って来られる方に対し、栄養士による食事指導、歯科衛生士によるお口の手入れ、理学療法士による身体を動かすことなどフレイル予防のPRを行っている。

委員

私もいろいろ勉強させていただいているが、高齢社会において、老人会メンバーも、歯の健康等8020運動に関して積極的に講習を受けている。事実、データの値も向上していると聞くので、今後も積極的に取組の推進をお願いしたい。

委員

1 - ⑥「健康を支え、守るための社会環境の整備」への質問について、この回答で状況は分かった。今後の方向性について教えてほしい。

保健医療政策課長

健康づくり実践団体の登録数が減っている状況に対して、構成されるメンバーの高齢化や活動場所が使用できなくなった等の状況を聞いており、その改善の取組を今後検討したい。

委員

お口の健康はフレイル予防にもつながるという話だが、8020という目標を達成するためには、60歳、70歳といった中年以降に頑張るのでは遅く、「0歳から」の歯の健康が大切で、お母さんのお腹にいるときからの健康教育が大切になってくる。妊婦の健康が0歳の胎児に影響を与えるので、ここからが大切であるとお伝えしている。妊婦健診の受診者がまだ半分くらいのようなので、これを何とかしたいと思っている。

委員

健康長寿に関するお口の手入れなど、立派な資料が作成されているので、これを十分に活用できる方法があればと思っている。また、保健委員会では、皆さんに配るため50部、100部受け取り、「唾液はこうして出るのですよ」とか「パタカラ体操をやってみましょう」などと実際に皆さんを前に実践しながら渡す方法が一番良いと思う。

また、のびのび元気体操のDVDについて、今回1,000部作製し、申込みされた方に無料で差し上げ、DVDやチラシを居場所にも持って行っているということだが、現在の申込状況を教えてほしい。

地域包括支援センター長

在庫の数字について、今持ち合わせていないが、まだ在庫に余裕はある。皆さんの机上に配布しているDVDは、地域包括支援センターのほか、サブセンター、長寿福祉課、瓦町FLAGでも渡している。また、地域包括支援センターに連絡いただければ、無料でお渡しできる。

委員

委員の皆さんも、いい機会なので、のびのび元気体操を持ち帰って御覧になり、是非実践していただきたい。

委員

私は学校の現場で勤めているが、朝食欠食者については、毎年非常に大きな課題になっており、90%を超えて児童は摂取できているが、100%の達成を目指すもなかなか難しい。

食の大切さを常に指導しているが、それだけでなく、生活習慣や家庭環境、ゲーム、テレビを含めた総合的な働き掛けが必要と思っている。それを継続できるような啓発を学校でも協力していきたいと思っている。

資料3-2 高松市健康都市推進ビジョンの目標項目一覧の各目標項目において、目標値に向けて、特に改善していないと思われる項目の改善に向けた方策等について

委員

地域の人々の支え合いの割合の向上という目標に関して、認知症サポーターの人数の増加について、地域包括支援センターの努力の成果であると思うが、増えている認知症サポーターに支え合いの部分をお願いできないのか。

長寿福祉課長

市内でも、一人暮らしの高齢者が増えている状況で、孤立化が非常に課題となっている。それぞれの民生委員が声掛けをして、一人暮らしの高齢者を把握しており、また、配食の食事サービス等利用者には、業者等が声掛けをすることにより、安否確認等を行っている状況である。

また、そういった方が地域におられたら、居場所に参加できるように声掛けをお願いしているが、コロナの状況で人と接することを恐れる方もおり、十分取り組めていないのが現状なので、今後とも支え合いの割合の向上を目指し、充実させていきたい。

委員

薬局でも、コロナ禍において皆さん外出を控えているが、誰ともしゃべっていないという方、病院に行くくらいが外出という方もたくさんいる。特に独居の方など、中にはヘルパーさんが

来ている方もいるが、毎日ではないので心配である。

会長

独居の方が受診されると、鉄砲玉のように話されることがあり、孤独問題を切実に感じる。

委員

薬局の方でも注意深く見守っていきたいと考えているのでよろしくお願ひしたい。

委員

子どもの朝食欠食というのは生活習慣の乱れが関係あると思っている。それと、朝食欠食が生活習慣の乱れということだけでなく、子どもの貧困といった問題もあると考えるので、関連する他の部局・課との連携が必要かと思う。

また、今親子で家にいる時間が割と多いと思うので、今まで積み重ねた親子料理教室の献立メニューをホームページなどで紹介し、親子で家で料理を作るきっかけになればと思っている。

のびのび元気体操に関して、私は地域で高齢者の配食サービスを行っており、今までは毎月のびのび元気体操をしていただいていたが、今年はコロナの影響であまり活動を行うことができていない。

委員

定期的に運動をしていない人の割合の増加に関する回答の中で、企業の方々にも運動を推進していることを、資料を通して初めて知った。スポーツ協会も一緒になって健康づくりに寄与できたらと思っている。

資料 3-3 新型コロナウイルス感染症の発生により、健康づくりの分野において、どのような問題が生じているか、またその対応について

委員

私も子どもがいるが、外に連れて行く時間がないので、出掛けるきっかけを作っていただけたらと思う。

委員

多くの委員の方の御意見にあるように、特に高齢者を中心に閉じこもってしまうところが根っこにあって、通常取り組んでいる業務の中で極めて重要なもののひとつが、今回の感染症の影響で、要介護認定者が増えたり、認知症が増えるなど、これは絶対防がなければいけないと思っているので、この時期だからこそ、少しメリハリをつけていただきたい。

委員

私は公募委員だが、協会けんぽに所属している。特定保健指導や市町が行っているがん検診との同時実施といったものがなかなか難しい状況にある。健診を受けた結果、要受診勧奨域の数値でも、例えば空腹時血糖が 200 前後あっても、コロナが怖いからと受診控えや検診控えが起きている。コロナウイルス感染も怖いのが、がんや生活習慣病の重症化も待つてはくれないので、機会あるごとに勧奨していけたらと思っている。

健康づくり推進課長

がん検診の受診に関しては、感染症予防対策を講じて安全に受診していただけるように考えている。受診者数は減少傾向にあるので、再勧奨等を実施して、受診率の向上に努めていきたい。

資料3-4「高松市健康都市推進ビジョン」の計画や内容について、広く市民にPRする方法として効果的と思われるもの

会長

意見をまとめると、SNSを含めて、マスメディアを利用する方法とか、チラシとか、学校を通じてという意見だが、担当課としては、これを考慮し対応してほしい。

健康づくり推進課

来年1月30日（土）と2月20日（土）に開催する予定の「30代からの運動をこれから始めたい方の運動教室」について、1月30日は丸亀町のレッツホール、2月20日はIKODE瓦町で開催を予定しており、それぞれ30名の定員である。また募集の際にはホームページ等でお知らせする予定なので、是非御検討いただきたい。

委員

スポーツイベントについては、例年5月に仏生山公園で高松スポーツカーニバル、9月・10月にトリムの祭典、2月に高松市健康スポーツ感謝祭という3大イベントを実施している。コロナの関係で、今年度は、5月、10月の大きな祭典は中止し、小さなイベントは、コロナ対策を講じながら徐々に開始している。来年2月末の土日に高松市スポーツ健康感謝祭を実施する予定にしているが、これもコロナ対策に万全を期して、スタートすることとしている。

議題（3）について事務局から説明

- ・「健幸経営企業表彰について」健康づくり推進課から説明。
- ・「健康都市推進ビジョン協賛金を活用しての啓発について」保健医療政策課から報告。

閉会

